

次回委員会に向けて

1. 路線整備の主たるミッションの整理

○第2回委員会では、北大阪急行線延伸整備の性格や過年度の議論の内容等を踏まえ、路線整備の主たるミッションについて意見交換を行う。

2. 運行計画案の検討深度化

○主に検討対象とする鉄道サービス水準を抽出し、その検討にあたっての考慮事項、具体的検討項目の検討を踏まえ、本調査における鉄道サービス水準のあり方について整理する。

○全数乗り入れ案及び半数乗り入れ案について、両案のダイヤ設定の可能性や運行に係る要員等について検討を行う。

○事業費縮減を考慮し、引上線整備の必要性について検討を行う。

○過年度検討結果等を踏まえ、運賃水準について以下の検討を行う。

- ・競合他線との比較による運賃水準の妥当性
- ・具体的な事業制度を踏まえた加算運賃額の検討
- ・具体的な事業主体を想定した場合の運賃の設定方法や課題の検討

3. 整備計画案の検討深度化

○追加の土質調査結果を分析し、特に地下部におけるシールド案及び NATM 案の絞り込みを行う。また、基礎杭の概略検討、標準断面の検討等により、構造物計画の精査を行う。

○コントロールポイントを踏まえ、地下案及び高架案に関する線形計画の精査を行う。

○以下の案により、事業費削減方策の検討を行う。

- ・道路空間を有効活用したコスト縮減案の検討
- ・引上線を整備しない直通案の検討
- ・現計画案の見直し、精査による検討

4. 事業制度の検討

○過年度の検討結果、意見交換結果を踏まえ、具体的な事業主体を想定したうえで、受益活用の考え方、事業制度の考え方について検討を行う。